


環境理工学部環境デザイン工学科で特別講義を実施（清水建設（株）常務執行役員 河田孝志様）【平成30年6月29日】

岡山大学大学院工学研究科土木工学専攻修了で現在、清水建設株式会社 常務執行役員 土木技術本部長であられる河田孝志様をお招きし、6月29日に岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科の「地盤防災工学」の授業において、特別講義を実施しました。

特別講義は、「建設業の現状と、土木技術者に求められる資質」と題して、日本の社会資本の現状、激甚豪雨による水害・土砂災害の現状、建設現場の生産革命、現場管理のポイント等に関して話をされ、最後に現場管理のケーススタディを行い、学生は建設現場で発生している問題点を考え、解決策を見出していました。

卒業生による授業ということで、就職・仕事・仕事への向き合い方・社会への貢献等に対しても学生は大変興味を抱いたことと思います。誠にありがとうございました。

(以下授業資料抜粋)



岡山大学環境デザイン学科特別講義
「地盤防災工学」
建設業の現状と、土木技術者に求められる資質

平成30年6月29日

清水建設株式会社
土木技術本部長
河田 孝志

河田孝志（かわた たかし）の経歴

生年月日：1955年12月11日 62歳（妻、子供3人、母1人、孫4人、嫁2人）
最終学歴：1980年3月 岡山大学大学院工学研究科土木工学専攻修了
資格：1985年7月 甲種火災類取扱保安責任者
1986年3月 1級土木施工管理技士
1988年2月 技術士（建設部門・トンネル）

職歴：1980年4月（24歳） 清水建設株式会社 土木本部技術部配属

1. 1980年（24歳）	北海道開発局 釧路トンネル工事	0.5 km	工事係
2. 1981年（25歳）	四国横断自動車道 明神トンネル（南）工事	1.0 km	計画主任
3. 1982年（26歳）	東成国力世田谷坂妻尾り管橋新設工事	0.8 km	工事係
4. 1984年（28歳）	北陸自動車道 追分トンネル工事	1.2 km	工事係
5. 1989年（33歳）	東京都 南大沢トンネル工事	0.8 km	工事主任、所長
6. 1990年（34歳）	北陸新幹線 里見トンネル工事	2.5 km	工事課長、所長
7. 1995年（39歳）	北陸新幹線 御牧原トンネル（中）工事	1.0 km	所長
8. 1996年（40歳）	インドネシア トシ水カ発電所工事	13.0 km	副所長
9. 2001年（45歳）	道道夕張新得線 赤岩トンネル工事	2.1 km	所長
2006年（50歳）	土木技術本部 副本部長		
2009年（53歳）	マレーシアパハンセランゴール湖トンネル	46.3 km	建設所長
2014年（58歳）	土木技術本部 本部長		
2015年（59歳）	執行役員土木技術本部 本部長		
2018年（62歳）	常務執行役員土木技術本部 本部長	合計 69.2 km	

国内現場：8現場14年、海外現場：2現場10年、技術本部 → 14年
5現場の所長を経験



夢もロマンも最大級
世界最大級の自由断面掘削機と多機掘削によるトンネル工事



平成17年度
土木学会技術賞



「社会に通用する
土木技術者とは」

土木技術者の値打ち

◆「究極の技術力」
予想外の事象が生じた時、自然界の地象事象を多面的に掌握し、その解決策の為の「的確な技術的判断・決断」を下す事。
その「的確な技術的判断・決断」を実行する為には、関係者の理解・納得を得る事が不可欠。判断・決断の論理性、根拠、妥当性を基に関係者を説得する為の「真摯なる説得力」が必要。

